**21世紀教育モデルの構築 --「日本型」教育モデルの国際的可能性と課題**

**日時: 2015年12月5日　　　場所: 東京大学工学部2号館213**

10:00--10:05 　開会の挨拶 恒吉僚子　学校教育高度化センター・センター長　　　　　　　

■午前のセッション

司会者: 秋田喜代美　東京大学教育学研究科・教授

発達保育実践政策学センター・センター長

10:05--10:35　(10分の質疑応答を含む)

クリスチャン・リー（Christine Lee）、世界授業研究学会会長、シンガポール国立教育機関

「レッスン・スタディ・モデルの国際化」

10:35--11:05　(10分の質疑応答を含む)

又地淳、JICA国際協力専門員

「日本型レッスン・スタディ・モデルの輸出」

11:05--11:35 (10分の質疑応答を含む)

恒吉僚子、センター長、東京大学教育学研究科教授

「21世紀教育モデルの構築「日本型」教育モデルの国際的可能性と課題を問う」

＜休憩（5分間）＞

11:40--12:10 (質疑応答10分を含む)

田熊美保、OECD教育局シニア政策アナリスト

「21世紀型コンピテンシ―を再定義する：OECD 2030の新構想について」

12:10--12:40　(10分の質疑応答を含む)

堀井秀之、東京大学工学系研究科教授、i.school代表

「教育イノベーションの事例--i.school」

＜昼食休憩 （12:40--13:45）＞

■午後のセッション　　13:45--14:45

司会者: 北村友人　東京大学教育学研究科准教授

テーマ「 21世紀型モデルの構築と「日本型」教育の国際的可能性と課題

--方向性を考える」

パネルディスカッション　　発表者、司会者全員